

防災通信

No.44号

2025年2月1日

県ドリームハイツ防災隊 教育広報部

TEL&FAX 045-851-2596

ドリームハイツにおける災害は**地震災害**が中心、避難は**在宅避難**となることは前号で述べたとおりです。

(防災隊で)過日、防災意識、**防災準備状況のアンケート**を抜き取りで実施しましたが、その結果、準備が**不十分の状況**(主に①、②)であります。

- ① 在宅避難のための備蓄 ② 地震発生時の減災対策

これを受けて、(前号では①についての要点を記載しましたので) **本号では②**について記載します。

対策不十分の状況が顕在化している状況を踏まえて、**命にも関わる災害**を再認識、併せて災害後の**復旧負担の増大**も伴うことも心に浸み込ませてください。

これを踏まえて、**次ページの要点を参考に減災対策**を拡充していただきたくお願いします。

1. 地震により起こりうる主な災害

1.1 家具類(食器棚、書棚、冷蔵庫など)の転倒

- ⇒ ・**圧死**又は大きな**怪我**
・家具類の**損傷**の他、高額/思い入れの**食器の破損**
・**破損物の散乱**、伴う**歩行時の怪我**



1.2 重量物の落下

- ⇒ ・落下重量物に当たり、**圧死**又は**怪我**

1.3 使用中の火気からの発火

- ⇒ ・**台所ガス台**(天ぷら油等)からの**発火**
・**石油ストーブ**転倒によるからの**発火**
・各種**暖房機上への落下物**の**炎上**



1.4 窓ガラスの破損

- ⇒ ・**ガラスの散乱**、伴う**歩行時の怪我**
・破損開口部から**酸素供給**→発火時**火勢の拡大**



2. 減災対策の実施

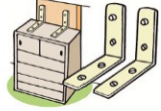
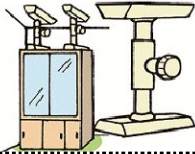

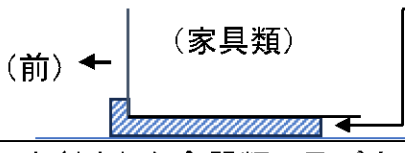



上記を参考に**対策の不備**を抽出し、**次ページ(裏面)の要点、留意点**を参考に**対策構築**を進めてください。

[地震に対する主な減災対策の要点、留意点]

I. 地震発生時の減災対策の主な要点（具体的内容はⅡ項参照）

- (1) 部材の適正選定により効果が上がる。
- (2) 機材はその機能の理解共に、使用方法の習得、維持により有効となる。
- (3) 機材にも有効期限があることを理解の下、定期確認、必要により交換をする。

Ⅱ. 主な減災対策部材、機材の留意点

区分	部材・機材	設置にあたっての留意点
家具類の固定	① L 金具 	一番強固とされるが、取り付け部に柱・梁・鴨居などが必要である (家具類・家財にあける金具取付け穴が許容できない場合は使用できない)
	② 突っ張り棒 	多く活用されているが、使用にあたっては下記留意が必要である ・固定対象物の重量に応じた棒を選定する（商品の説明書を確認） ・突っ張り力に耐えられない天井には当て板をする（同上） ・棒の取付けは対象物の左右両端、奥行き方向は奥側とする
	家具類滑り出し防止用防振材 	①又は②との併用により効果が大きくなる（下図参照）  防振材（断面） 密着性がよく滑りにくい (幅:約 10cm 厚さ:約 5mm) (長さ:対象物の幅に切る)
家具扉ストッパー 	地震時、収納された食器類の飛び出し防止は重要である ・(本体が固定されても)開き戸は収納物が飛び出し、危険である ・ストッパーは感震機能付き、手動共に多くの製品がある 写真は感震機能付きの例ですが、防災の観点ではこの機能付きのストッパーが推奨される	
重量物の落下防止	収納方法の改善 ・家具類の上に重量物は絶対に置かない ・家具類への収納は、重い順に下段→上段とする	
初期消火	エアゾール式消火器 	発火直後(鍋の中の火炎程度)の消火に推奨 ・噴射時の距離:2~3m (指定距離以内へ接近使用はヤケド危険) ・噴射時間:約 26 秒 ・耐用年数:3 年 ← 有効期間が短いので要注意 ・使用後の汚れ:消火液の付着→部屋の清掃は容易 ・容器の廃棄:(ガス抜き後)通常のごみ収集可(不燃ごみ)
	粉末式/強化液式消火器 	火の手が上記以上に拡がったときの消火に使用 ・噴射時距離:3~5m (指定距離以内へ接近使用はヤケド危険) ・噴射時間:10~15 秒/粉末式 30~70 秒/強化液式 ・耐用年数:10 年/業務用消火器(住宅でも使用可) 5 年/住宅用消火器 ・使用後の汚れ:厚い粉末層付着/粉末式→部屋の清掃は難儀 消火液の付着/強化液式→部屋の清掃は比較的容易 ・ボンベの廃棄:専門業者に依頼して有料処理
窓ガラス飛散防止	専用フィルム 又は専用テープ	・貼付時専用の刷毛等を使えば一般の人でもしわ、気泡封入防止可 ・よりきれいに貼りたいときは専用業者に依頼する ・専用テープであれば容易に貼ることができる
	内履きの常備	身近に内履きを常備しておく